

農山漁村活性化プロジェクト支援交付金交付対象事業別概要

計画主体名	計画期間
やまなしけん・やまなしし 山梨県(代表)・山梨市	H19～21

<連絡先>

担当課	電話番号	FAX番号	メールアドレス
山梨県耕地課(代表)	055-223-1626	055-223-1624	kouchi@pref.yamanashi.lg.jp
山梨市役所 農林課	0553-35-3111	0553-35-3733	norin@city.yamanashi.lg.jp

〔記入要領〕

計画主体名

・市町村名にはふりがなをふること

計画期間

・共同で作成する場合は、すべての計画主体を掲げるとともに、代表となる計画主体には(代表)と記載する。

連絡先

・計画期間は活性化計画の計画期間を記入すること。

メールアドレス

・共同計画の場合は行を追加し、全ての計画主体の連絡先を記入すること。

・当該交付金に係る連絡に利用できるメールアドレスを記入すること。

事業活用活性化計画目標

事業活用活性化計画目標	増加率等	増加率等の算出
	定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の確保	
計画区域における農業用排水施設等の機能の確保(ha) = 計画期間内に農業用排水施設等の整備・保全により条件整備され機能が確保された農地の面積(ha) $16(ha) = 16(ha)$		
事業活用活性化計画目標の設定根拠 農道受益は、通作および一次輸送時利用樹園地 A = 12.2ha 排水受益は、本水路に面した樹園地 A = 5.4ha なお、重複面積は、A = 1.6ha		
事業活用活性化計画目標	増加率等	増加率等の算出

【記入要領】

事業活用活性化計画目標

- ・必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。
- ・事業活用活性化計画目標の項目は農山漁村活性化プロジェクト支援交付金実施要領の別紙に掲げる項目から選択するものとする。
- ・事業活用活性化計画目標の記載にあたっては「事業活用活性化計画目標の設定について」により記入すること。

活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標と交付対象事業の関連性

事業メニュー名	地区名	事業内容	事業規模等	実施期間	事業実施主体	全体事業費 (千円)	交付金要望 額 (千円)	交付額算 定交付率	交付限度額 (千円)	活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標との関連性
農業用排水施設	万力	地域の特産農産物である、ぶどう・桃の生産のための農業用排水路	万力地区 L = 320m	H19～H20	山梨市	48,000	24,000	50%	24,000	本地区は、ぶどう、桃を基幹作物とする収益性の高い農業に取り組んでいるが、農道・水路等の基盤が脆弱であることから営農活動に支障をきたしている。またそのことから、遊休農地がさらに拡大している。このため、農道・水路の整備により、営農の省力化や農地の保全、遊休農地の解消、活用を図る。そのことより、農業の営農及び経営の安定化を進め、農家および定住人口の減少抑制を図る。
農業用道路	万力	地域の特産農産物である、ぶどう・桃の生産のための農業用道路	万力地区 L = 615m W = 4.0m	H19～H21	山梨市	88,000	44,000	50%	44,000	

【記入要領】

- ・必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。
- ・創意工夫発揮事業である場合は、事業内容の欄に一体として行う事業メニュー名及び一体的に行う必要性について併せて記載すること。
- ・事業メニューには、実施要領の別表の事業メニュー名を記入すること。
- ・地区名には、事業の実施地区名を記入すること。
- ・事業内容は、整備しようとする具体的な施設の内容を記載すること。
- ・事業規模は、施設毎の棟数と床面積、農道や森林管理道等の場合は地区名と延長など、それぞれの事業内容に応じた事業規模を記載すること。
- ・実施期間は、原則として3年以内とすること。
- ・活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標との関連性は、これら目標を達成する上で、各々の事業の実施が必要な理由を記載すること。

